

2016年3月期 第2四半期決算説明会



目次

1

経営概況

2

京成グループの取り組み

3

2016年3月期 第2四半期連結決算

4

2016年3月期 連結業績予想

5

連結業績の推移

6

参考資料

	2016年3月期 今回予想	2016年3月期 当初予想	対前回予想 増減	対前回予想 増減率	2016年3月期 E2プラン目標
営業収益	2,499億円	2,470億円	29億円	1.2%	—
営業利益 (営業利益率)	268億円 (10.7%)	237億円 (9.6%)	31億円	13.1%	230億円以上 (9.5%以上)
経常利益	408億円	373億円	35億円	9.4%	310億円以上
親会社株主に帰属 する当期純利益	294億円	271億円	23億円	8.5%	—
有利子負債 残高 (EBITDA倍率)	3,400億円 (6.9倍)	3,400億円 (7.3倍)	0億円	0.0%	3,550億円以下 (7.7倍以下)

※有利子負債残高にはリース債務を含む

※EBITDA倍率＝有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

運輸業(1) 鉄道輸送人員・旅客運輸収入

第2四半期実績(対前年同期比、対当初予想比)

当社鉄道輸送人員

(単位:千人)

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	対前年 増減	対前年 増減率	2016年3月期 第2四半期 当初予想	対当初予想 増減	対当初予想 増減率
輸送人員	139,009	134,074	4,935	3.7%	134,864	4,145	3.1%
定期	82,224	79,445	2,779	3.5%	79,462	2,762	3.5%
定期外	56,785	54,629	2,156	3.9%	55,402	1,383	2.5%

旅客運輸収入

(単位:百万円)

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	対前年 増減	対前年 増減率	2016年3月期 第2四半期 当初予想	対当初予想 増減	対当初予想 増減率
旅客運輸収入	29,405	27,974	1,431	5.1%	28,161	1,244	4.4%
定期	10,229	9,892	337	3.4%	9,852	377	3.8%
定期外	19,175	18,081	1,093	6.0%	18,308	867	4.7%

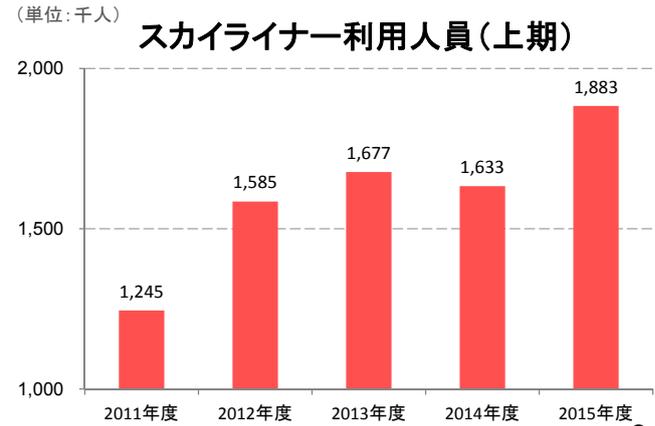
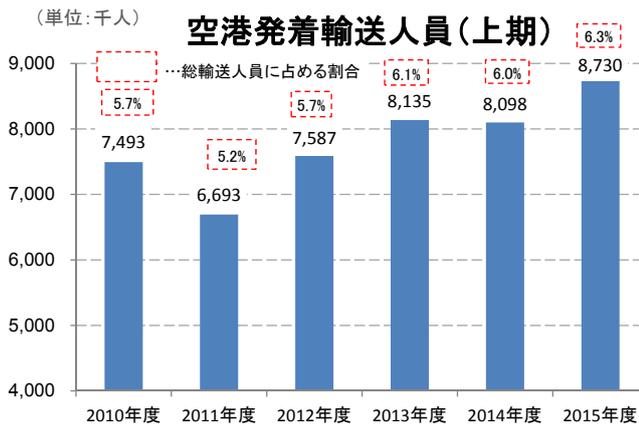
運輸業(2) 成田空港発着鉄道輸送人員



第2四半期実績(対前年同期比、対当初予想比)

(単位:千人)

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	対前年 増減	対前年 増減率	2016年3月期 第2四半期 当初予想	対当初予想 増減	対当初予想 増減率
空港発着 輸送人員	8,730	8,098	632	7.8%	8,266	464	5.6%
内 スカイライナー 利用人員	1,883	1,633	250	15.3%	1,646	237	14.4%



3

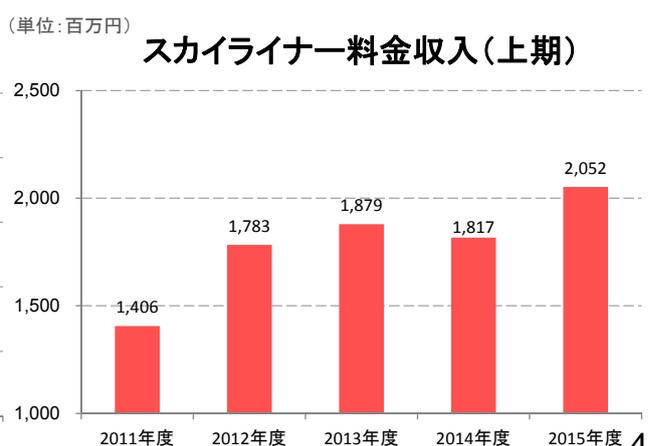
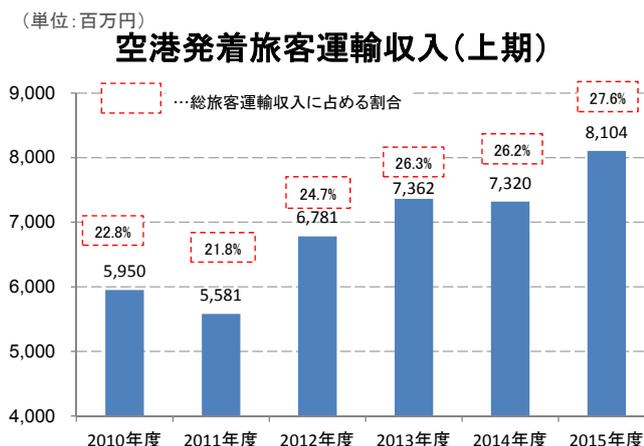
運輸業(3) 成田空港発着旅客運輸収入



第2四半期実績(対前年同期比、対当初予想比)

(単位:百万円)

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	対前年 増減	対前年 増減率	2016年3月期 第2四半期 当初予想	対当初予想 増減	対当初予想 増減率
空港発着 旅客運輸収入	8,104	7,320	783	10.7%	7,421	682	9.2%
内 スカイライナー 料金収入	2,052	1,817	235	12.9%	1,831	220	12.0%



4

運輸業(4) 鉄道輸送人員・旅客運輸収入



通期予想(対前期比、対当初予想比)

当社鉄道輸送人員

(単位:千人)

	2016年3月期 通期予想	2015年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2016年3月期 当初予想	対当初予想 増減	対当初予想 増減率
輸送人員	273,967	266,439	7,528	2.8%	266,970	6,997	2.6%
定期	160,476	156,379	4,097	2.6%	155,820	4,656	3.0%
定期外	113,491	110,060	3,431	3.1%	111,150	2,341	2.1%

旅客運輸収入

(単位:百万円)

	2016年3月期 通期予想	2015年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2016年3月期 当初予想	対当初予想 増減	対当初予想 増減率
旅客運輸収入	58,265	56,045	2,220	4.0%	56,188	2,077	3.7%
定期	20,140	19,638	502	2.6%	19,548	592	3.0%
定期外	38,125	36,406	1,718	4.7%	36,640	1,484	4.1%

5

運輸業(5) 成田空港発着鉄道輸送人員



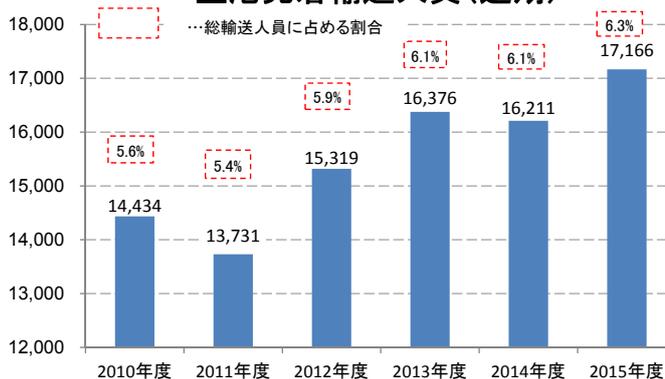
通期予想(対前期比、対当初予想比)

(単位:千人)

	2016年3月期 通期予想	2015年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2016年3月期 当初予想	対当初予想 増減	対当初予想 増減率
空港発着 輸送人員	17,166	16,211	955	5.9%	16,436	730	4.4%
内 スカイライナー 利用人員	3,663	3,290	373	11.3%	3,274	389	11.9%

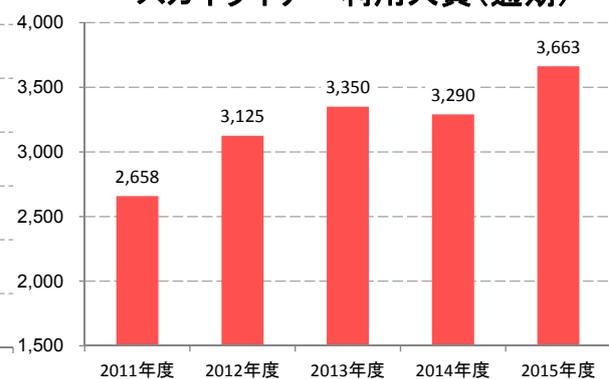
(単位:千人)

空港発着輸送人員(通期)



(単位:千人)

スカイライナー利用人員(通期)



6

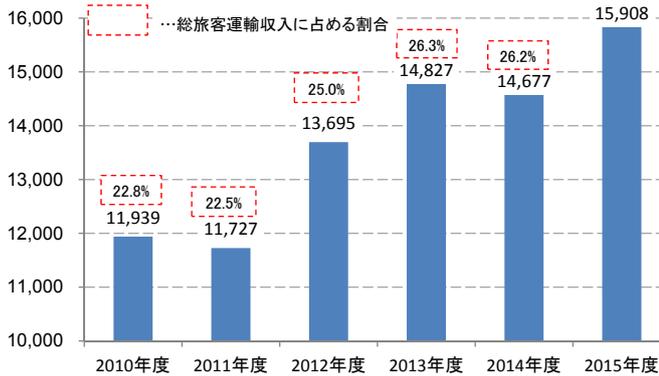
通期予想(対前期比、対当初予想比)

(単位:百万円)

	2016年3月期 通期予想	2015年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2016年3月期 当初予想	対当初予想 増減	対当初予想 増減率
空港発着 旅客運輸収入	15,908	14,677	1,230	8.4%	14,725	1,182	8.0%
内 スカイライナー 料金収入	3,983	3,646	336	9.2%	3,637	345	9.5%

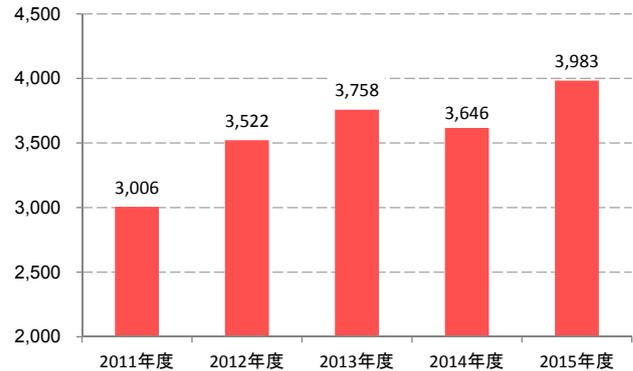
(単位:百万円)

空港発着旅客運輸収入(通期)



(単位:百万円)

スカイライナー料金収入(通期)



1	経営概況
2	京成グループの取り組み
3	2016年3月期 第2四半期連結決算
4	2016年3月期 連結業績予想
5	連結業績の推移
6	参考資料

海外における乗車券販売体制

《海外で販売している乗車券》

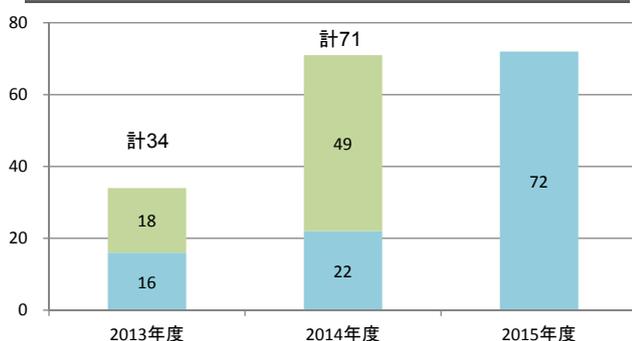
Keisei Skyliner & Tokyo Subway Ticket

- スライナーの特急券・乗車券と東京メトロ・都営地下鉄の乗車券がセットとなった企画乗車券

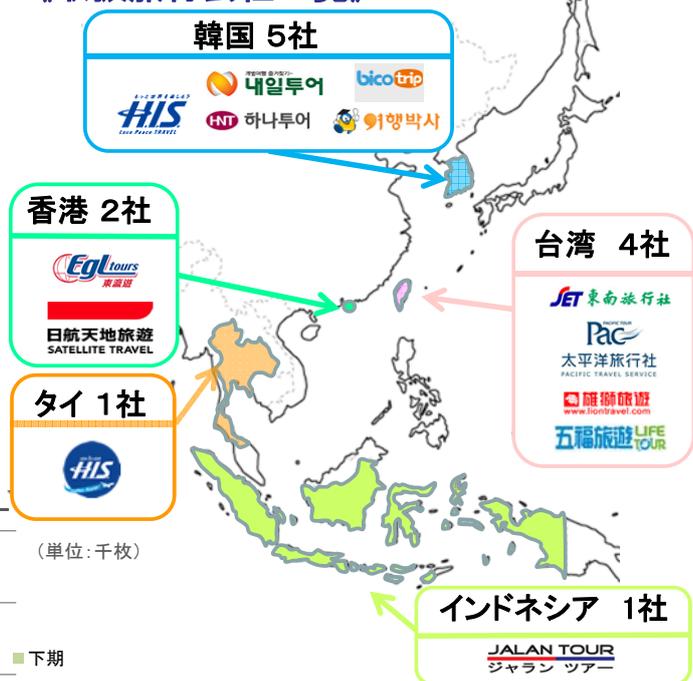
スライナークーポン

- 訪日外国人向け スライナー割引乗車券

Keisei Skyliner & Tokyo Subway Ticket 販売実績(上下期別)



《取扱旅行会社一覧》



※2013年度、2014年度は、KEISEI SKYLINER&METRO PASSの販売数を含む

訪日外国人の取り込み

訪日外客数の増加

(単位:万人)

合計1,035

合計686

中国	131
台湾	152
韓国	131
香港	46
米国	46
タイ	30
豪州	13
英国	11
フィリピン	9
マレーシア	10
シンガポール	9
インドネシア	8
その他	90

2014年度上期



中国	291
台湾	199
韓国	190
香港	79
米国	54
タイ	35
豪州	15
英国	13
フィリピン	13
マレーシア	12
シンガポール	12
インドネシア	10
その他	112

2015年度上期

出典: 日本政府観光局 (JNTO)

1万人以下切り捨て

※2015年度の数値は暫定値を含む

京成線外国人旅客数調査

- 成田空港駅及び空港第2ビル駅で、京成線利用の外国人旅客数調査を実施(2015年6月)
 - 普通券入場者数に占める外国人割合は、約26%

海外向け広告宣伝の強化

- 韓国の空港鉄道(株)との合意に基づき、宣伝を強化
 - 韓国で開催のハナツアー旅行博で空港鉄道(株)が当社のPRチラシを配布(2015年6月)



- 訪日外国人向けのインターネット広告宣伝を実施
 - JNTO WEBマガジンに広告を出稿



成田空港アクセスの利便性向上 鉄道事業

SKYLINER&KEISEI INFORMATION CENTER の開設

- 空港第2ビル駅の「たびる一む」をリニューアルし、訪日外国人向け総合案内カウンターを設置(2015年12月)
 - 訪日外国人向け案内、企画乗車券発売を実施



ダイヤ改正

- ダイヤ改正を実施予定(2015年12月)
 - 成田空港発のアクセス特急を上り1本増発(51本→52本)、終電時刻を繰り下げ
 - モーニングライナー、イブニングライナーの京成船橋停車

LCC機内での乗車券販売

- 機内において「Keisei Skyliner & Tokyo Subway Ticket」を販売
 - Peach機内での販売開始(2015年4月)
 - Spring Japan 機内での販売開始(2015年7月)

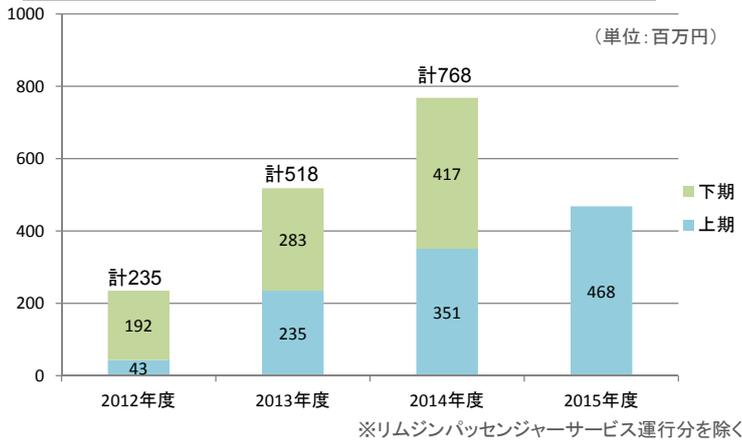
新型スカイライナー1500万人達成

- 2010年7月の運行開始から約5年で達成(2015年5月)
 - 2013年12月の1000万人達成から約1年半で500万人の利用者増加



成田空港アクセスの利便性向上 バス事業

東京シャトル運送収入実績(上下期別)



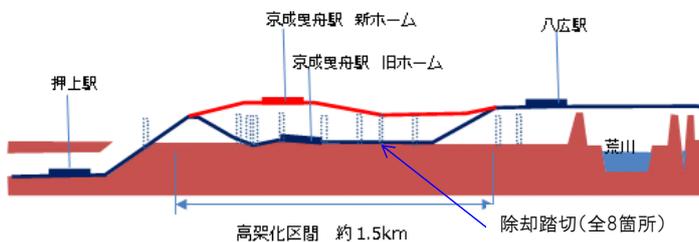
東京シャトルの利用促進策

- ジェットスター国内線機内で東京シャトルの乗車券を販売開始(2015年7月)
- お客様200万人達成のキャンペーン運賃を実施(2015年7月)
- 小児運賃の導入(2015年11月)
- 東京駅発の予約者を対象とした割引キャンペーン「^{いきわり}粋割」を実施(2015年11月～2016年1月)

安全・安心への取り組み

墨田区内連続立体交差化

- 下り線を高架化し、上下線の高架化完了(2015年8月)
— 事業区間内8箇所の踏切を除却
- 高架下スペースの有効活用を検討



京成津田沼駅駅舎改良工事

- ウォークインタイプの改札を整備
- エスカレーター増設により利便性を向上



葛飾区内連続立体交差化

- 用地買収を実施中
- 事業区間内11箇所の踏切を除却予定

耐震補強工事

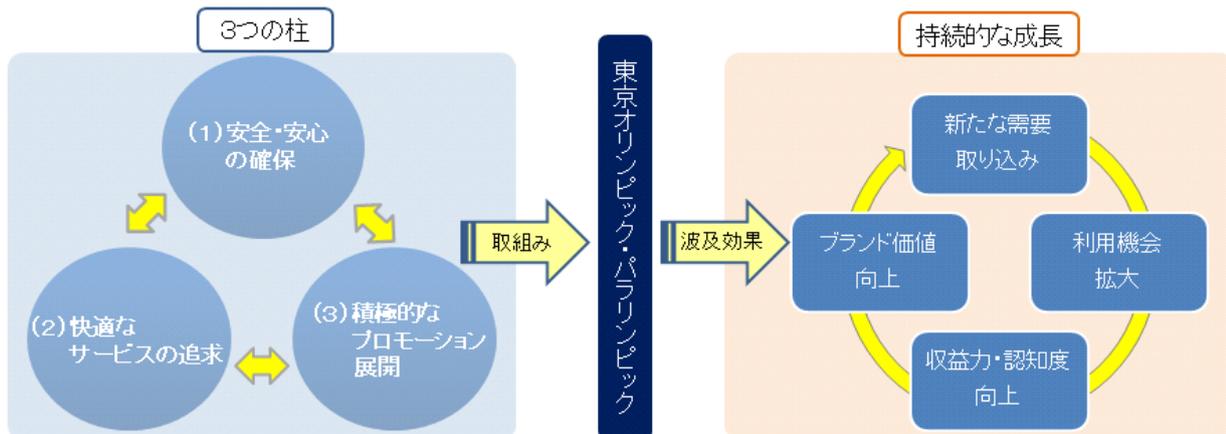
- 高架橋柱のほか、トンネル中柱についても耐震補強工事を実施

2020年東京オリンピック・パラリンピック対応推進委員会

- 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、グループ横断的な委員会を立ち上げ(2014年7月)
- 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取り組みの基本方針を策定(2015年7月)

大会開催に向けた基本方針

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、商品・サービスのさらなる進化に、京成グループを挙げて積極的に取り組み、持続的な成長を目指す。



13

都心と臨海副都心とを結ぶBRT(京成バス)

- 都心と臨海副都心とを結ぶBRTの運行事業者に選定(2015年9月)
- 2019年度の運行開始に向け事業計画を策定予定(今年度中)

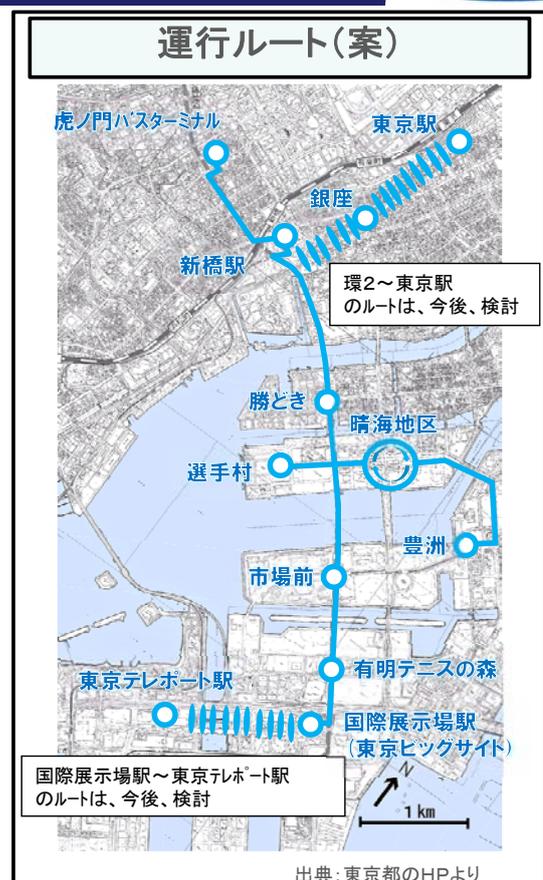
ツーリズムEXPOジャパンへの出展

- 京成グループの成田空港アクセスと沿線観光スポットを紹介し、認知度向上、利用促進を図る(2015年9月)



海外旅行博への出展

- 台北国際旅行博へ出展(2015年11月)
- タイ国際旅行フェアへ出展予定(2016年2月)

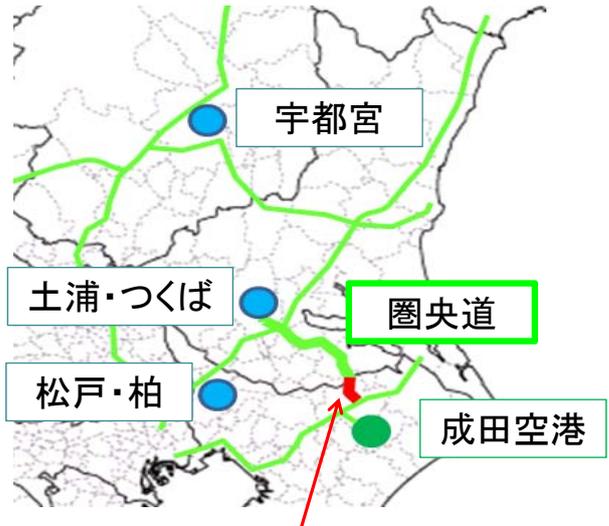


出典: 東京都のHPより

14

圏央道開通に伴うバス路線のルート変更

- 圏央道 神崎IC～大栄JCT間開通により、高速道路経由にルート変更し、所要時間を短縮(最大25～45分)
 - －宇都宮～成田空港線(2015年9月)
 - －松戸・柏～成田空港線(2015年10月)
 - 新たにTX柏の葉キャンパス駅へ乗入れ
 - －土浦・つくば～成田空港線(2015年11月)



赤線部分 (神崎IC～大栄JCT間) 2015年6月開通

バス路線の拡充

- ストロベリーライナー【山武市・東金市～海浜幕張駅・イオンモール幕張新都心】
 - － 1日15便で運行開始(2015年4月)
 - － 平日21便、土休日22便に増便(2015年10月)

台東区循環バスの運行受託

- 台東区循環バス「ぐるーりめぐりん」の運行を受託(2016年1月運行開始予定)

燃料電池ハイヤーの導入

- 環境に配慮し、燃料電池自動車「MIRAI」を使用したハイヤーを導入予定(2015年11月)

押上旧本社跡地活用(京成押上ビル)



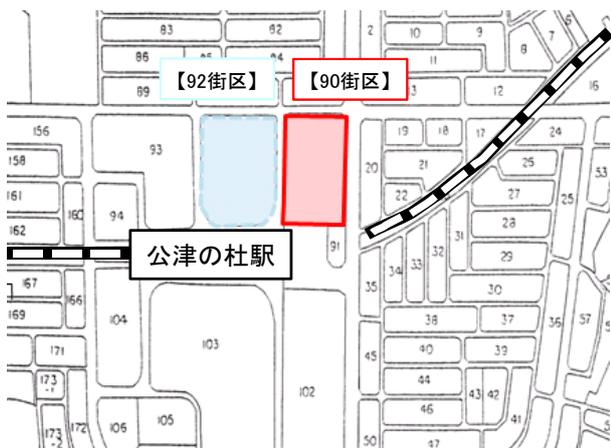
- 押上旧本社跡地(総開発面積約4,400㎡)の開発を推進【地上13階 地下1階】(2015年12月)
 - －テナント:『リッチモンドホテルプレミア東京押上』
 - 『スーパーマーケット ライフ』
 - 『ニトリ』
 - －賃貸資産拡充により安定利益を確保

京成バス船橋営業所跡地活用



- 商業・住居一体型複合施設(総開発面積約21,000㎡)を開発
 - －分譲マンション「サングランデ船橋宮本」完売
 - －賃貸商業施設コーナン(2015年3月開業)

医療福祉系大学の開校(千葉県成田市)



公津の杜 92街区 90街区 位置図



国際医療福祉大学 成田新キャンパス

- 90街区に国際医療福祉大学 成田看護学部、成田保健医療学部が開校予定(2016年4月)

その他事業の取り組み

ストア業の集客力強化

- リブレ京成 千葉寺店をリニューアル(2015年10月)
一通路幅拡大、イートインコーナー新設による
利便性向上



優秀庭園賞を受賞(京成バラ園芸)

- 京成バラ園ローズガーデンが、
第17回世界バラ会議にて優秀庭園賞
を受賞(2015年6月)
- 開園からの入園者数200万人を達成(2015年5月)



無料Wi-Fiサービス(京成ホテルミラマール)

- 全客室に無料で利用可能なWi-Fiサービスを導入(2015年7月)

1	経営概況
2	京成グループの取り組み
3	2016年3月期 第2四半期連結決算
4	2016年3月期 連結業績予想
5	連結業績の推移
6	参考資料

2016年3月期 第2四半期連結決算(1)

■ 第2四半期の業績(前年同期比較)

(単位:百万円、%)

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減	増減率
営業収益	125,616	121,264	4,352	3.6
営業利益	16,596	12,387	4,209	34.0
(営業利益率)	13.2	10.2	—	—
経常利益	23,845	19,162	4,683	24.4
うち持分法投資利益	8,635	8,258	376	4.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益 ※	17,818	14,401	3,417	23.7

※2015年3月期第2四半期については「四半期純利益」を表しています。

 営業収益(セグメント別)

(単位:百万円、%)

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減	増減率	差異内訳
運輸業	70,405	67,625	2,779	4.1	鉄道事業・バス事業の増
流通業	34,715	35,120	△ 404	△ 1.2	
不動産業	12,087	8,797	3,289	37.4	不動産販売業の増
レジャー・サービス業	4,889	4,778	111	2.3	
建設業	8,693	10,100	△ 1,406	△ 13.9	完成工事高の減
その他の事業	2,203	2,159	44	2.1	
計	132,994	128,581	4,413	3.4	
消去又は全社	△ 7,378	△ 7,317	△ 61	—	
連結	125,616	121,264	4,352	3.6	

20

 営業収益(主なセグメントの内訳)

(単位:百万円、%)

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減	増減率	差異内訳
鉄道事業	37,401	35,797	1,604	4.5	空港輸送の増
バス事業	21,997	21,082	914	4.3	乗合・高速収入の増
タクシー事業	11,006	10,745	260	2.4	
運輸業計	70,405	67,625	2,779	4.1	
ストア業	18,959	18,807	151	0.8	
百貨店業	12,629	13,063	△ 433	△ 3.3	
その他	3,126	3,249	△ 122	△ 3.8	
流通業計	34,715	35,120	△ 404	△ 1.2	
不動産販売業	5,795	2,593	3,201	123.5	販売戸数の増
不動産賃貸業	4,668	4,476	192	4.3	
不動産管理業	1,623	1,728	△ 105	△ 6.1	
不動産業計	12,087	8,797	3,289	37.4	

21

■ 営業利益(セグメント別)

(単位:百万円、%)

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減	増減率	差異内訳
運輸業	12,100	9,194	2,905	31.6	鉄道事業・バス事業の増
流通業	628	463	165	35.7	
不動産業	3,264	2,210	1,054	47.7	不動産販売業の増
レジャー・サービス業	70	△ 65	136	—	
建設業	331	262	69	26.5	
その他の事業	157	168	△ 10	△ 6.2	
計	16,554	12,232	4,321	35.3	
消去又は全社	42	154	△ 111	△ 72.6	
連結	16,596	12,387	4,209	34.0	

22

■ 営業利益(主なセグメントの内訳)

(単位:百万円、%)

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減	増減率	差異内訳
鉄道事業	8,349	6,664	1,684	25.3	増収の影響
バス事業	3,293	2,222	1,071	48.2	増収の影響、燃料費の減
タクシー事業	457	307	150	48.9	
運輸業計	12,100	9,194	2,905	31.6	
ストア業	430	253	176	69.7	
百貨店業	26	13	13	98.7	
その他	170	195	△ 25	△ 12.8	
流通業計	628	463	165	35.7	
不動産販売業	779	△ 39	819	—	増収の影響
不動産賃貸業	2,369	2,133	236	11.1	
不動産管理業	115	116	△ 1	△ 1.3	
不動産業計	3,264	2,210	1,054	47.7	

23

 連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	18,769	18,863	△ 94
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,577	△ 11,023	8,445
フリー キャッシュ・フロー	16,192	7,840	8,351
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 17,664	△ 12,180	△ 5,484
当期キャッシュ・フロー	△ 1,472	△ 4,339	2,867

24

 連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 実績	増減	増減率	差異内訳
流動資産	86,507	91,761	△ 5,254	△ 5.7	
固定資産	671,484	690,393	△ 18,908	△ 2.7	圧縮記帳による減
資産合計	758,129	782,257	△ 24,128	△ 3.1	
流動負債	173,970	219,553	△ 45,583	△ 20.8	
固定負債	299,486	295,081	4,404	1.5	
負債合計	473,456	514,635	△ 41,178	△ 8.0	借入金等の減
自己資本	277,077	260,918	16,159	6.2	利益剰余金の増
純資産合計	284,672	267,622	17,050	6.4	
負債純資産合計	758,129	782,257	△ 24,128	△ 3.1	
自己資本比率	36.5	33.4	—	—	

25

1	経営概況
2	京成グループの取り組み
3	2016年3月期 第2四半期連結決算
4	2016年3月期 連結業績予想
5	連結業績の推移
6	参考資料

2016年3月期 連結業績予想(1)

■ 通期の業績予想

(単位: 百万円、%)

	2016年3月期 今回予想	2015年3月期 実績	増減	2016年3月期 当初予想	増減
営業収益	249,900	249,016	883	247,000	2,900
営業利益	26,800	24,313	2,486	23,700	3,100
(営業利益率)	10.7	9.8	—	9.6	—
経常利益	40,800	37,169	3,630	37,300	3,500
うち持分法投資利益	16,800	16,197	602	16,700	100
親会社株主に帰属する 当期純利益 ※1	29,400	25,683	3,716	27,100	2,300
EBITDA倍率 ※2	6.9倍	7.6倍	—	7.3倍	—

※1 2015年3月期実績については「当期純利益」を表しています。

※2 EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)
なお、有利子負債残高にはリース債務を含みます。

※3 当初予想は、2015年4月30日付決算短信発表値です。

2016年3月期 連結業績予想(2)

■ 営業収益(セグメント別)

(単位:百万円)

	2016年3月期 今回予想	2015年3月期 実績	増減	2016年3月期 当初予想	増減
運輸業	139,000	135,319	3,680	136,200	2,800
流通業	69,900	70,096	△ 196	70,200	△ 300
不動産業	22,300	21,785	514	20,100	2,200
レジャー・サービス業	10,100	10,018	81	9,800	300
建設業	24,000	27,117	△ 3,117	23,200	800
その他の事業	4,800	5,006	△ 206	5,000	△ 200
計	270,100	269,344	755	264,500	5,600
消去又は全社	△ 20,200	△ 20,328	128	△ 17,500	△ 2,700
連結	249,900	249,016	883	247,000	2,900

前期比

運輸業

建設業

鉄道事業・バス事業の増

完成工事高の減

当初予想比

運輸業

不動産業

鉄道事業・バス事業の増

不動産販売業の増

27

2016年3月期 連結業績予想(3)

■ 営業収益(主なセグメントの内訳)

(単位:百万円)

	2016年3月期 今回予想	2015年3月期 実績	増減	2016年3月期 当初予想	増減
鉄道事業	74,200	71,829	2,370	72,000	2,200
バス事業	42,800	41,926	873	42,200	600
タクシー事業	22,000	21,563	436	22,000	0
運輸業計	139,000	135,319	3,680	136,200	2,800
ストア業	37,500	37,280	219	37,200	300
百貨店業	25,800	26,341	△ 541	26,300	△ 500
その他	6,600	6,474	125	6,700	△ 100
流通業計	69,900	70,096	△ 196	70,200	△ 300
不動産販売業	9,300	9,419	△ 119	7,500	1,800
不動産賃貸業	9,700	9,046	653	9,700	0
不動産管理業	3,300	3,320	△ 20	2,900	400
不動産業計	22,300	21,785	514	20,100	2,200

前期比

鉄道事業

空港輸送の増

当初予想比

鉄道事業

不動産販売業

空港輸送の増

土地の一括分譲による増

28

2016年3月期 連結業績予想(4)

営業利益(セグメント別)

(単位:百万円)

	2016年3月期 今回予想	2015年3月期 実績	増減	2016年3月期 当初予想	増減
運輸業	17,800	15,917	1,882	15,700	2,100
流通業	1,100	1,061	38	1,100	0
不動産業	6,600	5,586	1,013	5,500	1,100
レジャー・サービス業	200	30	169	200	0
建設業	700	952	△ 252	800	△ 100
その他の事業	300	433	△ 133	300	0
計	26,700	23,981	2,718	23,600	3,100
消去又は全社	100	332	△ 232	100	0
連結	26,800	24,313	2,486	23,700	3,100

前期比

運輸業
不動産業

鉄道事業の増
不動産販売業の増

当初予想比

運輸業
不動産業

鉄道事業・バス事業の増
不動産販売業の増

29

2016年3月期 連結業績予想(5)

営業利益(主なセグメントの内訳)

(単位:百万円)

	2016年3月期 今回予想	2015年3月期 実績	増減	2016年3月期 当初予想	増減
鉄道事業	13,100	11,657	1,442	11,600	1,500
バス事業	3,800	3,550	249	3,200	600
タクシー事業	900	708	191	900	0
運輸業計	17,800	15,917	1,882	15,700	2,100
ストア業	700	714	△ 14	700	0
百貨店業	100	37	62	100	0
その他	300	309	△ 9	300	0
流通業計	1,100	1,061	38	1,100	0
不動産販売業	1,800	1,134	665	800	1,000
不動産賃貸業	4,600	4,241	358	4,600	0
不動産管理業	200	210	△ 10	100	100
不動産業計	6,600	5,586	1,013	5,500	1,100

前期比

鉄道事業 増収の影響
不動産販売業 土地の一括分譲による増

当初予想比

鉄道事業 増収の影響
バス事業 増収の影響、燃料費の減
不動産販売業 増収の影響

30

1	経営概況
2	京成グループの取り組み
3	2016年3月期 第2四半期連結決算
4	2016年3月期 連結業績予想
5	連結業績の推移
6	参考資料

連結業績の推移(1)

業績の推移

(単位:百万円)

	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	2016年3月期 業績予想
営業収益	230,282	244,059	244,995	249,016	249,900
運輸業	126,985	131,886	135,062	135,319	139,000
営業利益	19,922	22,984	24,244	24,313	26,800
運輸業	14,142	16,780	17,308	15,917	17,800
営業外収益	9,595	13,935	18,439	18,418	18,600
持分法投資利益	7,201	11,564	16,051	16,197	16,800
営業外費用	7,277	6,317	5,704	5,562	4,600
支払利息	6,577	5,806	5,151	4,370	4,000
経常利益	22,240	30,602	36,980	37,169	40,800
親会社株主に帰属する 当期純利益 ※	13,471	21,973	27,048	25,683	29,400

※2015年3月期実績以前については「当期純利益」を表しています。

有利子負債残高等の推移

(単位:百万円)

	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	2016年3月期 業績予想
借入金・社債等	384,345	369,342	345,688	329,342	316,000
リース債務	23,004	24,180	23,545	24,158	24,000
合計(有利子負債残高)	407,349	393,522	369,234	353,501	340,000
EBITDA倍率	9.7倍	8.8倍	8.0倍	7.6倍	6.9倍

1	経営概況
2	京成グループの取り組み
3	2016年3月期 第2四半期 連結決算
4	2016年3月期 連結業績予想
5	連結業績の推移
6	参考資料

長期経営計画「Eプラン」の概要

名称・計画期間

長期経営計画「Evolution Plan」(=Eプラン)[2010年度～2021年度 12ヶ年]



長期経営ビジョン

グループ事業の中核である交通運輸事業の競争力・収益力を更に強化すると共に、千葉県北西部(特に京成線・新京成線・北総線沿線)並びに東京都東部を地盤として地域に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充する。

長期数値目標

2021年度における連結決算数値

営業収益	2,800億円以上
営業利益率	10%以上
有利子負債残高	3,500億円以下
(EBITDA倍率※)	7倍以下)

※EBITDA倍率 = 有利子負債 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

中期経営計画「E2プラン」の概要(1)

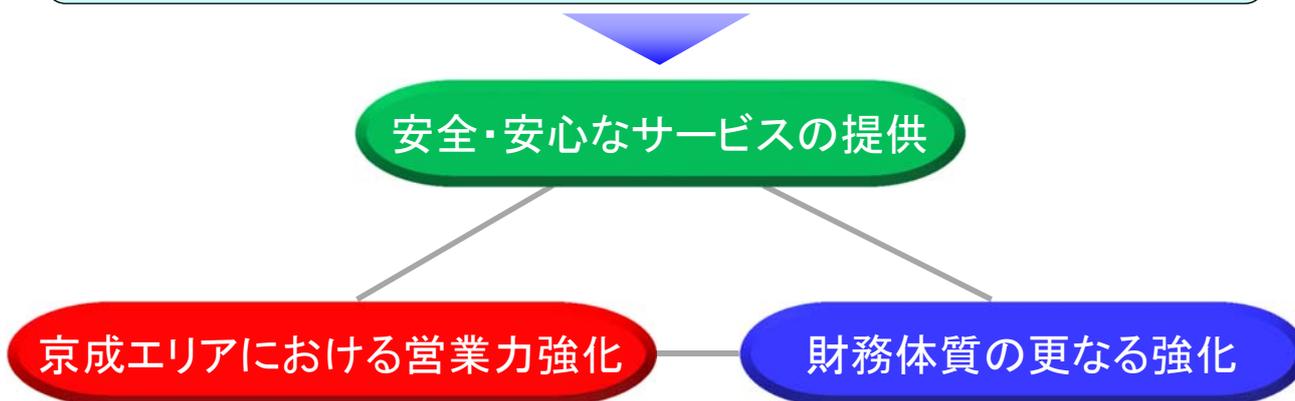
名称・計画期間

中期経営計画「E2プラン」(2013年度～2015年度 3ヶ年)



基本的な考え方

コア事業である運輸業を中心とした堅実な事業運営を推進するとともに、有利子負債の削減を進めることにより、引き続き安定した事業成長を目指す



34

中期経営計画「E2プラン」の概要(2)

基本方針

- ◎ 成田スカイアクセスの利便性・認知度の向上により、鉄道事業の競争力・収益力の強化を図る。
- ◎ コア事業(運輸業)を中心に引き続き堅実な事業運営を推進し、各事業分野において一定の事業成長を実現する。
- ◎ 将来に亘り安定的な事業成長を実現するため、賃貸資産の拡充を図るとともに、投資案件を選別し投資規模の適正化を推進する。
- ◎ 減価償却の範囲内での設備投資の実施を原則とすることで、フリーキャッシュフローを確保し、財務体質の強化を図る。
- ◎ グループ全体経営を重視し、グループシナジーの最大化を図る一方、M&Aや事業提携も視野に入れ、事業基盤の拡充を図る。
- ◎ 安全管理体制並びに、異常時・災害時におけるグループリスク管理体制の強化を図る。
- ◎ 京成グループ全体のブランド価値向上により、競争力を強化する。

35

中期経営計画「E2プラン」の概要(3)



数値目標

	2015年度(予想)	E2プラン数値目標 (2015年度)
営業利益	268億円	230億円以上
(営業利益率)	(10.7%)	(9.5%以上)
経常利益	408億円	310億円以上
有利子負債残高	3,400億円	3,550億円以下
(EBITDA倍率)	(6.9倍)	(7.7倍以下)

※1 EBITDA倍率 = 有利子負債 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

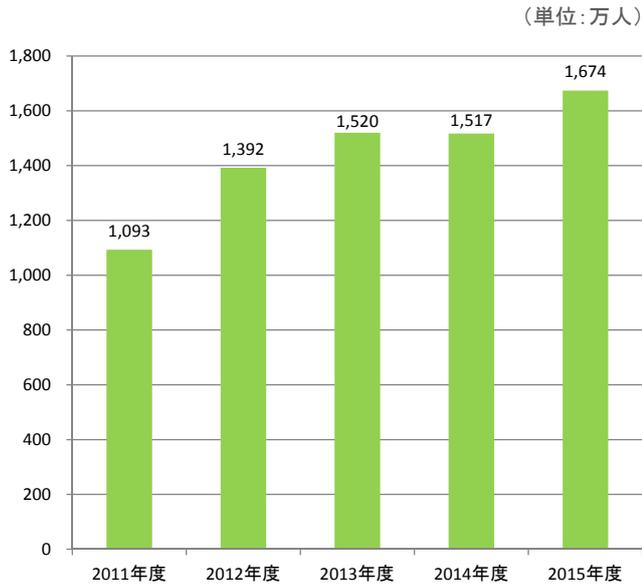
中期経営計画「E2プラン」の概要(4)



		2015年度 予想	2015年度 E2プラン	増減
運輸業	営業収益	1,390億円	1,339億円	51億円
	営業利益	178億円	159億円	19億円
流通業	営業収益	699億円	759億円	△60億円
	営業利益	11億円	12億円	△1億円
不動産業	営業収益	223億円	182億円	41億円
	営業利益	66億円	52億円	14億円
レジャー・サービス業	営業収益	101億円	113億円	△12億円
	営業利益	2億円	3億円	△1億円
建設業	営業収益	240億円	229億円	11億円
	営業利益	7億円	7億円	0億円
その他の事業	営業収益	48億円	51億円	△3億円
	営業利益	3億円	2億円	1億円
合計 (連結修正後)	営業収益	2,499億円	2,480億円	19億円
	営業利益	268億円	230億円	38億円

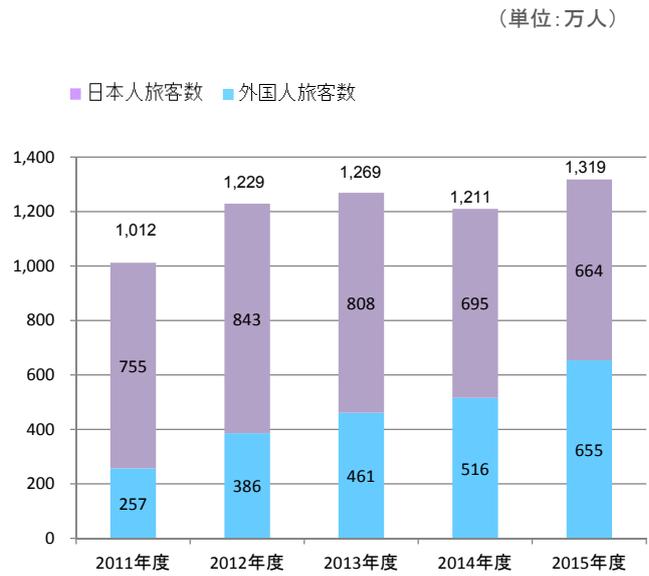
航空旅客数総数【上期】

※トランジット客除く



国際線航空旅客数【上期】

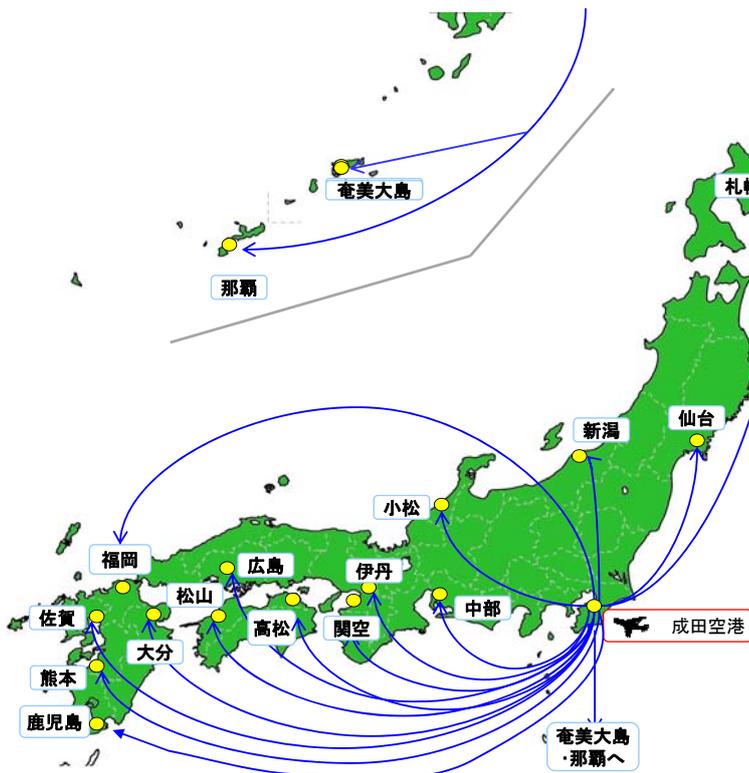
※トランジット客除く



【成田国際空港株式会社発表資料に基づく】
※1万人未満切り捨て

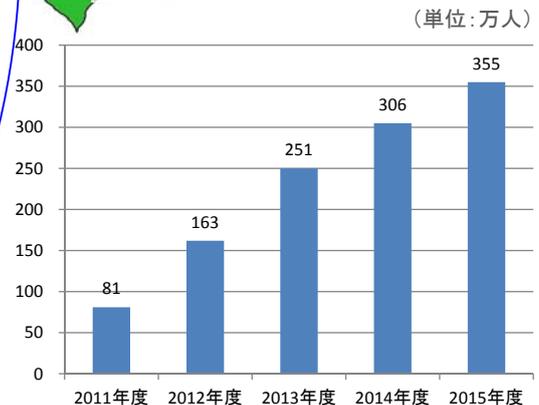
成田空港のネットワーク

国内17空港



航空旅客数の推移【上期】

(国内線)



【成田国際空港株式会社発表資料に基づく】
※1万人未満切り捨て

沿線人口の推移



2015年9月、2010年4月（前中期経営計画「E1プラン」初年度）比

単位：千人

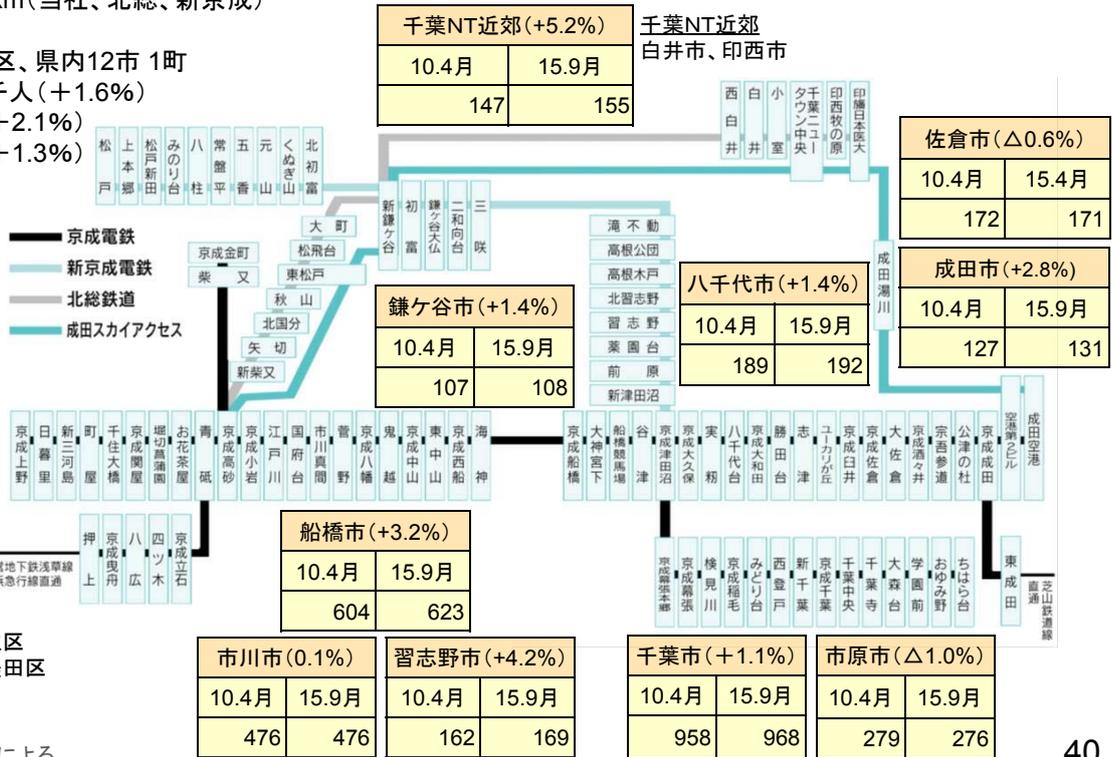
京成エリア 東京都東部・千葉県
 営業距離 178.8km(当社、北総、新京成)
 駅数 102駅
 自治体数 都内6区、県内12市 1町
 沿線人口 6,229千人(+1.6%)
 都内 2,476千人(+2.1%)
 県内 3,753千人(+1.3%)

松戸市(Δ0.3%)	
10.4月	15.9月
485	483

都内6区(+2.1%)	
10.4月	15.9月
2,425	2,476

都内6区
 台東区、荒川区、足立区
 葛飾区、江戸川区、墨田区

数値は自治体公表値による



本資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

<http://www.keisei.co.jp/keisei/ir/index.html>

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。

実際には様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。